みんなで取り組む
千葉の教育

県教委 NEWS

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話　043-223-4015

毎月２週目
４週目頃
発行予定

Vol.332
５月-１号
令和６年５月発行

教育長メッセージ…P2 掲載

心のバリアフリー教育

○心のバリアフリー教育とは

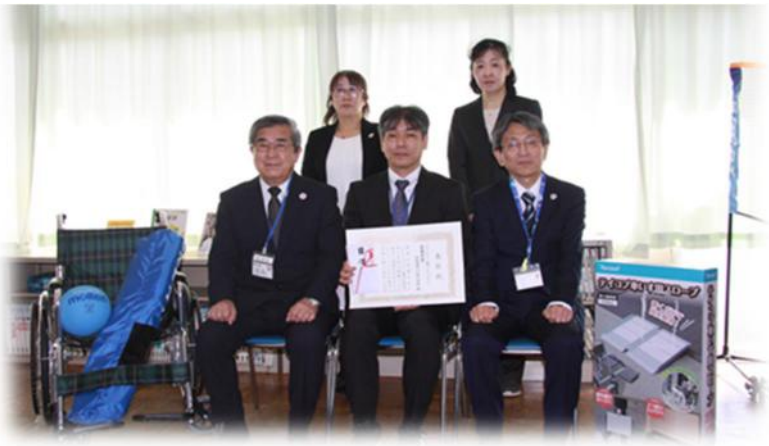
これまでのオリンピック・パラリンピックを活用した教育の成果を無形のレガシーとして受け継ぎ、共生社会の形成を目指して学校と地域等が連携・協働し、障害のある人や高齢者等を含めた他者の理解を深めるとともに、パラスポーツなどを通じて、相互に支え合い、認め合える心を育てる教育のことです。

心のバリアフリー教育　グッドプラクティスの顕彰校

県教育委員会では、心のバリアフリー教育を推進しており、各校においてパラスポーツ体験や講演会の実施、ボランティア活動や障害者理解促進、手話による交流等を行っています。

また、その取組において他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる学校を「心のバリアフリー教育グッドプラクティス」として顕彰しています。

顕彰名	学校名
最優秀賞	四街道市立山梨小学校
優秀賞	船橋市立行田西小学校
	白井市立白井第二小学校
	芝山町立芝山小学校
	君津市立周南中学校
	千葉県立東金商業高等学校
奨励賞	流山市立西深井小学校
	館山市立船形小学校
	市川市立第七中学校
	柏市立逆井中学校
	神崎町立神崎中学校
	長柄町立長柄中学校
	千葉県立夷隅特別支援学校



令和5年度　最優秀賞校（四街道市立山梨小学校）
表彰状及び記念品の授与式

最優秀賞校に決定した四街道市立山梨小学校では、保護者の協力によるキャリア教育と教科横断的な福祉教育講座の実施や地域の協力による車いす体験や高齢者疑似体験等を実施しており、保護者や地域の力を活用した実践は、大変素晴らしいものでした。

お問い合わせ先　千葉県教育庁企画管理部教育政策課　電話043−223−4177

インデックス＆ミニ・トピックス

インデックス（目次）	頁
心のバリアフリー教育グッドプラクティス 顕彰最優秀賞授与式について	1
インデックス＆ミニ・トピックス	2
「自転車乗車用ヘルメット」寄贈式を開催！	3
グローバル体験事業について	4
令和6年度教育 CSR 学校現場における「出前授業」の活用について	5
「令和5年度魅力ある県立学校づくり大賞」（優秀賞：千葉工業高等学校）	6
千葉県子どもと親のサポートセンターの事業について	7
イベント情報（生涯学習課・競技スポーツ振興課）	別冊

台湾姉妹校（陽明高級中等学校）の来校・交流 ～秋には台湾修学旅行を５年ぶりに再開～ （県立成田国際高等学校）

県立成田国際高等学校は、国際科設置高校としてグローバル人材の育成に向けて海外姉妹校との交流、第２外国語教育の推進など、様々な国際教育に取り組んでいます。

このたび、本校と姉妹校協定を締結してる台湾の陽明高級中等学校の生徒１４名と教員２名が来日し、去る４月２４日（水）に６年ぶりに本校生徒と交流を行いました。

歓迎セレモニーでは箏曲部・吹奏楽部の演奏により、陽明高級中等学校のみなさんを歓迎しました。セレモニー後、本校２年の中国語選択者と授業交流を行い、異文化理解の深化、多文化共生社会の実現に向けての意欲高揚につながる一日となりました。

成田国際高校を象徴する「虹の架け橋」の前で記念撮影。

各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～

すべては子供たちのために ―― 多くの先生方が、日々この言葉を胸に子供たちと向き合っていることと思います。素晴らしいことだと、ずっと思ってきました。けれど、もしかしたら、この魔法の呪文のような言葉が、先生方に無理をさせているのではないかと、思い始めました。今、県教育庁職員一人一人の名札には、「子供たちと先生の笑顔のために」と記載しています。千葉県の先生方が「働きがい」と「働きやすさ」の両方を実感できるよう取り組むことが、子供たちの笑顔につながると信じて、教育委員会職員も、学校現場の先生方同様、努力を続けています。

「自転車乗車用ヘルメット」寄贈式を開催！

鈴木　千葉県自転車軽自動車商協同組合理事長（写真右）より冨塚教育長へ（写真左）ヘルメットを寄贈。

令和５年４月１日の改正道路交通法の施行に伴い、全ての自転車利用者に対して「自転車乗車用ヘルメット」の着用が努力義務となったことを受け、県教育委員会では、県立高等学校の生徒の命を守るためのヘルメット着用率の向上を目指して取り組んでいます。

令和６年度は、県立高等学校６校を「自転車乗車用ヘルメット着用推進モデル校」として指定し、ヘルメット着用の取組を加速させていきます。

この度は、モデル校での取組に活用する目的で、千葉県自転車軽自動車商協同組合からヘルメット２４０個（モデル校１校につき４０個）を寄贈いただきました。

大切に使わせていただきます！

御寄贈いただいたヘルメット

【令和６年度推進モデル校】

- 県立千葉北高等学校
- 県立船橋北高等学校
- 県立流山おおたかの森高等学校
- 県立匝瑳高等学校
- 県立東金商業高等学校
- 県立京葉高等学校

チーバくん

お問い合わせ先：児童生徒安全課　安全班　電話：０４３－２２３－４０９１

グローバル体験事業

県立高校の生徒の皆さん！
グローバル体験事業は令和４年度から始まった国際教育交流事業の一つです。
外国人留学生と一緒にディスカッションや自然体験を行い、交流を通して
語学力の向上や異文化理解を深めることを目的としています。

チーバくん

【期　日】令和6年8月21日（水）～23日（金）2泊3日
【場　所】千葉県立水郷小見川青少年自然の家
住所：香取市小見川5249－1
ＴＥＬ：0478－82－1343
※小見川駅（JR）から徒歩30分またはタクシー5分
男女別10人部屋・男女とも浴室は施設の大（中）浴場を利用

日にち	内　容（案）※昨年度の実施内容です。今年度の詳細については計画中です。
8月21日（水） 13時頃受付予定	・オープニングセレモニー ・自己紹介、アイスブレイクゲーム ・チームビルディング（チーム名とフラッグ作成） ・留学生へインタビュー　・野外炊飯　・日本文化紹介
8月22日（木）	・ボッチャ体験　・留学生の母国紹介 ・留学生の日本での困りごとを解決 ・プレゼンテーション準備
8月23日（金） 昼食後解散予定	・グループプレゼンテーション ・フェアウェルセレモニー

【募集人数】県立高校生徒５０名（英検３級程度以上の英語力が必要です。）
※実施期間中に体調不良等があった場合、保護者に迎えに来てもらえることが参加の条件です。
※募集人数を超えた場合は、条件付き（各校1人は選出、3年生優先等）の抽選にて選出するため、複数で応募をした場合も1人の参加となることがあります。また、応募状況によっては、 過去に参加経験がある生徒は参加できないことがあります。

【自己負担費用】５，０００円（宿泊・食事に係る費用と保険料の一部）
※保険料の不足分と3日間の活動に含まれるプログラム参加費等は県が負担します。
※現地までの往復分の交通費は自己負担となります。

【申込方法】各校が指定する締切日までに担当の先生に申し出てください。

【 そ の 他 】参加者の決定は６月下旬を予定しています。

令和５年度参加者の感想（当日の参加者４９名）
・今までこんなに長い時間英語と触れる機会がなかったため、とても刺激的だった。
・他の国の人たちと英語で交流し、相手の国について知れてとても貴重だった。
・周りとの英語力の差を感じ、まだまだ英語を話せないことがわかって悔しい気持ちと、もっと学んで話せるようになりたい気持ちがとても強くなった。

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 政策室　電話 043-223-4177

令和６年度教育ＣＳＲ
学校現場における
「出前授業」の活用について

　教育分野における企業の社会貢献を「教育CSR」と呼びます。県教育委員会では、この活動に取り組む企業等に「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」への登録を推奨しています。登録 された企業等による「令和6年度企業等における出前授業実施予定一覧（3 実施企業等一覧 （48企業等）参照）」を作成しましたので、ご活用ください。
　なお、本事業へのお申し込みにつきましては、各学校より「ちば電子申請サービス」を通じて、お手続きください。お問合せ等に関しましては、下記連絡先までご連絡ください。

１ 申込方法
「ちば電子申請サービス」より、各学校から申込
【申込先】

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=29394

２ 申込期間及び実施期間
【申込期間】令和6年4月１日（月）から令和7年2月10日（月）まで
【実施期間】令和6年4月下旬から令和7年3月上旬まで
※原則、実施希望日の１か月前までにお申し込みください。

３ 実施企業等一覧（48企業等）
【参照先】 企業等名、授業テーマ、対象の校種、実施可能市町村等が確認できます。

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-d/downloadForm/downloadFormList_detail?tempSeq=30591

４ 問合せ先
「教育CSR（出前授業）相談窓口」
043−223−4167 (教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室)

「令和5年度魅力ある県立学校づくり大賞」：優秀賞

技を生かして、地域に寄り添う ～地域とともに歩む学校を目指して～

千葉県立千葉工業高等学校

本校は、昭和11年4月、千葉県で最初にできた工業高校で、本年で創立87周年を迎えます。所在する県中央地域には、京葉工業地帯が広がっています。全日制の課程は、工業化学科、電子機械科、電気科、情報技術科の4学科に、平成28年度に新設された理数工学科を含め5学科で構成されています。定時制の課程は現在、工業科の1学科で機械と電気の2つのコースに分かれて日々学んでいます。

本校が今回「魅力ある県立学校づくり大賞」へ応募した内容は、千葉県誕生150周年記念に際して製作したカウントダウンボードの紹介や、ハノイ職業訓練短期大学等との国際交流の様子、企業と連携した実践的なキャリア教育への取組や、地域貢献として取り組んだ出前授業等をまとめたものです。

本庁ロビーでの「カウントダウンボード」除幕式

＜取組み概要＞

2、3学年生徒4人で取り組んだカウントダウンボードの製作過程は、NTT東日本の協力の下、ドキュメンタリー動画として編集され、これらの取組は千葉日報、NTT東日本の広報などに掲載されるとともに、千葉テレビでも放映されるなど、大きな反響を呼びました。

また、工業化学科と情報技術科の生徒が近隣のコミュニティーセンターに出向き、ものづくりの魅力や大切さを近隣の児童へ教える教室に取り組んできました。このような「ものづくり教室」では、自分が作った作品が設計どおりに動いて喜ぶ児童を前にして、指導した生徒が自信をつけて頼もしく成長していきます。

近隣の保育園と保育所では、連携事業としてロボットの操作体験やレゴブロックの組み立て、タイヤ付き椅子の操縦体験などを行っています。保育園児は、この出前授業を毎年とても楽しみにしてくれているようで、授業が終わる時間まで目一杯楽しんで遊んでくれます。本校の生徒も、園児たちと非常に充実した時間を過ごしています。

近年、小学校でもプログラミングを授業に取り入れていますが、環境整備などが思うように進んでいないという現状を伺い、本校情報技術科のレゴマインドストーム（ロボット制御の仕組みが学べる教材）20台を活用して、小学校の先生と共にプログラミング体験授業に取り組んでいます。

海外交流としては、「JICA草の根技術協力事業（ベトナム）」をきっかけに、グローバル人材育成の一環として、ベトナムのハノイ職業訓練短期大学と姉妹校協定を締結し、平成20年度から生徒を現地へ派遣するなどして交流を深めてきました。

「はんだ付け」を教える本校の生徒（右）

以上のような様々な取組に参加した生徒からは、「すごく勉強になった」「もっとやってみたい」など、感動の声が多く上がっています。また「来年はやるの？」「楽しかったからもっと続けたい」などの声も聞かれます。

今後は、外部機関や地域との連携をこれまで以上に深め、工業高校の特色を生かしながら新時代の教育活動の実現に取り組んでいくことで、さらに発展させていきたいと思います。

本校は、これからも地域のために積極的に取り組んでまいります。御期待ください。

千葉県立千葉工業高等学校　電話０４３－２６４－６２５１

「子どもと親のサポートセンター」の事業について

①相談窓口の紹介（電話相談/ワンストップ・オンライン相談）②教育相談講演会１の開催

◆24 時間対応の電話相談ダイヤル　0120-415-446

◆ワンストップ・オンライン相談

若者向け相談窓口として、スマートフォンからアクセスできる新たな相談窓口を開設しました。オンラインで予約を受け付けています。ちばスタディネット教育相談室とも連携していく予定です。

◇対　象　千葉県在住、在学の十代の若者
小学生から高校3年生くらいまで　若年無業者を含む

◇内　容　（相談時間）　月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで
１回40分、１日7コマ　Zoom を利用

ワンストップ・オンライン相談
2次元コード

◇申請手順　子どもと親のサポートセンターホームページで１か月前から Web 予約受付

◇ホームページのURL：　https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online

◆教育相談講演会１

◇対　象　県民・教育関係者等
◇日　付　６月８日（土）
◇内　容　（講　演）9:30　～　12:00
（演　題）「発達を促す不登校 LIFE」
（講　師）和光大学　現代人間学部教授　高坂康雅先生
（個別相談）13:00　～　（1ケース:25分）
※センター所員による「不登校」等の個別相談を実施します。
※個別相談を希望される方は、参加申し込み時にお知らせください。
その際、内容・時間等を後日確認させていただきます。
◇会　場　千葉県総合教育センター　大ホール
◇申請手順　電話　・　ＦＡＸ　・メール
千葉県子どもと親のサポートセンター　教育相談部
・電　話:043-207-6034
・ＦＡＸ：043-207- 6041
・メール:saposoudan@chiba-c.ed.jp

＊以下の内容を御記入ください。
①件名「教育相談講演会１申し込み」　②氏名（ふりがな）
③所属（教育関係者以外の方は「一般・市町村名」明記）
④連絡先（電話番号）　⑤　個別相談希望の有無
◇定　員　120名
◇参 加 費　無料

県教委ニュース　イベント情報

さわやかちば県民プラザ
青少年自然の家

「ちばりすネット」で、みんなの学びを応援します！

さわやかちば県民プラザでは、県内の講座イベント情報などの生涯学習に関する情報をインターネットを通じて提供する「ちばりすネット」を運用しています。

以下の講座やイベント以外にも、たくさんの情報が詰まっています。地域や日時、内容などで**絞り込んで検索**することもできますので、ぜひご活用ください。右記ＱＲコードからアクセスできます。

▼さわやかちば県民プラザ

［〒277-0882 柏市柏の葉 4-3-1］ 電話 04-7140-8600　https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/

◆ちばアカデミア講座１

【ゼロからわかる天気と気象～頻発する気象災害に立ち向かう気象庁のチャレンジングな取組～】

さわやかちば県民プラザでは、研究機関や大学等との連携講座である、「ちばアカデミア講座」を開催します。第１回目は、気象大学校講師　梶原靖司　氏に講演をお願いし、近年激しく変化している気象について、膨大なデータとそれを活用した予測などをわかりやすく解説していただきます。

日　時　令和６年６月１５日（土）午後２時００分から午後４時００分まで
会　場　さわやかちば県民プラザ（柏市柏の葉４－３－１）
　　３階　中研修室２及びオンライン配信
参加費　無料
対　象　どなたでも
定　員　６０名（オンラインでの参加を含む）
※定員を超えた場合は抽選
申込方法
　(1)来　所：総合受付にて、所定の申込用紙で申し込む。
　(2)Ｗｅｂ：さわやかちば県民プラザホームページＷｅｂ申込フォームにより申し込む。
　(3)電　話：04-7140-8615 に午前９時から午後５時までの間に電話で申し込む。
申込締切　令和６年６月８日（土）

ちばで体験活動！　～四季折々の感動体験・春～

千葉県内の青少年教育施設では、様々な体験活動プログラムを実施しています。
自然に触れながら、体を動かしたり、おいしいものを作って食べたり、生き物を観察したり、学んだり…体験活動をしてみませんか。今回は春におすすめの活動を紹介します！

○県内青少年教育施設ネットワーク化検討協議会の構成施設
各施設で体験できる活動プログラムを県ＨＰに掲載しています。
右記 QR コードからアクセスできます。

●宿泊設備のある施設

① 習志野市立鹿野山少年自然の家
② 八千代市「ガキ大将の森」キャンプ場
③ 船橋市立一宮少年自然の家
④ 船橋市立青少年キャンプ場　研修棟さざんかの家
⑤ 市川市少年自然の家
⑥ 浦安市青少年交流活動センター（うら・らめ～る）
⑦ 佐倉市立青少年センター
⑧ 佐倉草ぶえの丘
⑨ 旭市海上キャンプ場
⑩ 大山青少年研修センター
⑪ 鴨川市わんぱくハウス
⑫ 南房総市大房岬自然の家
⑬ 木更津市立少年自然の家キャンプ場

●宿泊設備のない施設

⑭ 船橋市青少年会館
⑮ 浦安市青少年館
⑯ 佐倉市ヤングプラザ
⑰ 松戸青少年会館
⑱ 柏市青少年センター
⑲ 白子町青少年センター

この件についての問合せ先
教育振興部生涯学習課
電話 043-223-4168

スポーツ関連施設の注目イベント情報

▼東総運動場　[旭市]0479-68-1061

ヒルトレックコース利用案内

ヒルトレックコースは、起伏のある草原を走るヒルトレックトレーニングに由来し、約８千㎡の草地の斜面を利用した、１周約１ｋｍの本格的なトレーニングコースです。心肺機能の向上、筋力アップを目指す全てのアスリートに有効なコースです。

大会等利用時を除き、無料で通年利用可能です。

※申込方法、利用上の注意等は下記ＵＲＬで御確認ください。

ＵＲＬ：https://www.cue-net.or.jp/kouen/toso/annai/hilltreck.html

多目的広場・広場等利用案内

目的広場は約２千㎡。広場は約８千㎡の計約１万㎡の高麗芝があり、グラウンド・ゴルフ、陸上大会時のアップ場として利用できます。

無料で通年利用可能です。

※申込方法、利用上の注意等は下記ＵＲＬで御確認ください。

ＵＲＬ：https://www.cue-net.or.jp/kouen/toso/annai/recreationground.html

射撃場　[千葉市] 043-239-0164

ビームライフル射撃体験

ビームライフル射撃は、警察の許可が不要な光線銃で標的を狙い得点を競う競技です。
国民スポーツ大会の種目としても実施され、老若男女を問わず参加できる生涯スポーツです。
千葉県総合スポーツセンター射撃場では、ビームライフル銃の操作方法や競技のルール等を競技経験がある施設の管理者が丁寧にお教えします。

◆申込方法：ご利用日前日までに射撃場に参加人数と来場時間を連絡ください。

◆利 用 料：一般　２００円/１時間　　高校生以下　１００円/１時間

（ビームライフル銃は無料で貸し出します。）

※施設の場所や営業日については下記ＵＲＬで御確認ください。

ＵＲＬ：http://www.cra1964.sakura.ne.jp

▼千葉県国際総合水泳場【習志野市】047-451-1555
https://chiba-swim.gr.jp

安全水泳（着衣泳）講習会

水難事故の犠牲者の多くは衣服を着た状態で事故にあっています。
着衣泳を通じて、あわてずに身の安全を確保する技術を習得しましょう。

◆講習会名：安全水泳（着衣泳）講習会
◆場　　所：千葉県国際総合水泳場　サブプール
◆日　　時：令和６年６月 22 日（土）10：00～11：30
◆料　　金：参加費　１回 1,100 円（税込）
◆対　　象：小学生以上の健康な方
※参加者が小学 1～3 年生の場合は保護者同伴を条件とします。
◆定　　員：２０名
◆ご 予 約：当水泳場までご来場またはお電話でご予約ください。
◆申込方法：参加申込書と参加費を添えて受付へお申し込みください。
◆申込期間：開催日前日まで　※定員になり次第締切り
◆持 ち 物：水着、水泳帽、タオル、衣服（長袖、長ズボン）、
空きペットボトル（1.5ℓ～2.0ℓ）※きれいに洗ったもの
◆そ の 他：詳細はお電話にてお問い合わせください。